

人権教育シリーズ

自分のことってかくしていいの？



さぬき北小 五年 山本 美滂

わたしは、二年生のころから歯のきょう正をしていました。口の中に器具を付けているのでしゃべりにくくて、かつ舌が悪くなっていました。

それが原因で、わたしの口を見た人に、「変な物付けている」とか、「しゃべり方がおかしい」などと、たくさん言われました。それから、わたしはあまり人と話さなくなったり、しゃべらなくなったりする時がありました。

わたしのクラスには、もう一人同じ歯のきょう正器具を付けているAさんがいました。わたしは、Aさんに話しかけてみました。すると、とても気が合って、仲良しになりました。わたしはAさんと毎日話をしていました。あるとき、「歯のきょう正を付けていても、周りの人にいろいろ言われないの？」と質問してみました。するとAさんは、わたしがびつくりするのを言いました。「言われないよ。自分から友だちに話しかけて、自分の歯のことを言えばいいよ。そうすれば、みんな分かってくれて、かげでこそ言わないよ。逆に自分のことをかくしていると、みんなが、なんで付けているのかが分からないから、かげでこそ、こそ言うんだよ」と教えてくれました。

わたしは、このことを聞いて、自分から伝えればいいのだと分かりました。そして、わたしは自分のことを思い切つて友だちに伝えました。すると、Aさんが言った通り、みんなが分かってくれました。

それからわたしは、初めて会つて仲良くなった人には、自分のことをしっかり伝えるようになりました。きょう正のことをかくさず、笑顔で過ごしています。

わたしも、自分がうれしかったように、友だちの個性を受け入れられるようになりたいです。一人ひとりの個性を認め合えるようになったら、つらい思いをする人がいなくなると思います。

【問】人権推進課 ☎(087)894・9088

少年育成センターだより

家族みんなで考える「青少年健全育成標語」入賞作品

家族と一緒に考える活動を通して、青少年の健全育成や非行防止等についての理解を深め、問題意識を持つてもらつとともに、親子のコミュニケーションや絆を深めていたごとうと、さぬき市少年育成センターが、市内の児童・生徒から募集した「平成三十一年度 家族みんなで考える青少年健全育成標語」の入賞作品が決まりました。今年度の応募総数は、三百四十六点でした。

応募してくださつたみなさん、すばらしい作品をありがとうございました。
最優秀、優秀作品は次のとおりです。

最優秀 一名

ごめんなさい

言えたゆきは 一とうしよう

さぬき北小学校 二年 野崎 妃夏

優秀 十名

盗んだ手 その手で盗む 未来まで

志度中 一年 大生友里香

一言で 変わる未来は 一秒後

長尾中 一年 原井 悠羽

危ないよ スマホが視線を 独占中

さぬき南中 三年 吉武 樹生

しないでね 家族に言えない 内緒なこと

東部養護中 一年 松尾 海麗

育てたい 強い意志と 優しい心

さぬき南小 五年 仙谷 陽輝

気をつけよう 「軽い」言葉の 持つ「重み」

志度小 三年 佐々木大和

スマホオフ 家族とご飯で 会話オン

寒川小 五年 山中 聖也

泣かないで あなたの味方は きつといる

造田小 六年 山元あさひ

見つめる目 スマホじゃなくて 家族の目

長尾小 三年 平木 太一

きずつける 言葉は二度と 消せないよ

津田小 五年 大江 航介

★少年に関する相談・情報は

さぬき市少年育成センター ☎(0879)422・1012
少年相談電話 ☎(0879)422・5535